



11月22日(日)に神川町消防団特別点検を実施します。訓練の一環として、当日午前7時にサイレン吹鳴を行います。実際の災害とお間違えないようご注意ください。

**消防団員募集**

火災、自然災害等は何時何処で発生するか分かりません。消防団は、災害が起これば出動し、行政、関係機関と連携し活動します。そのために団員一人ひとりが現場で安全で確実に行動できるように、年間を通して様々な訓練を行っています。「自分たちの地域は自分たちで守る。」を合言葉に、団員一人ひとりが消防団員としての使命感を持って活動しています。

団員定数174名に対し、現在160名(内役場職員が62名)と欠員が出ており、また、役場職員に頼っているのが現状です。旧神泉地区においては、団員の減少に伴い、本年4月より消防団OBによる消防団協力隊を結成し、強化を図りました。18歳以上の方で、健康で町内に在住、または在勤の方であればいつでも入団できます。消防団の敷居は決して高くありません。各分団で親睦を図る事業等も行っていきます。

消防団員を確保していくためには、地域のご理解、ご協力が必要です。ご紹介いただければ、地元分団員が回りますのでお声がけください。



団長  
あらかし 美弘

○団長コメント

**地域を守る消防団の重要性**

神川町消防団は、消防組織法に基づいて神川町に設置され、普段は別の仕事をしながら、消火・救助活動、防火・救急啓発活動などを行う地域住民等で構成される消防機関です。

消防団は、災害活動はもとより、地域の安全・安心を支える地域防災の要です。自然災害は、いつ起こるかわかりません。その時、地域の人の顔が見える消防団に、代替性のない消防団活動をしてもらえることが、非常に心強く感じています。

神川町の消防団員数も減ってきていると聞いています。地域防災をなんとかしようと思う人、興味のある人、あなたの想いがこの町を守ることにつながります。是非、消防団への入団をお願いします。



児玉郡市広域消防本部  
神川分署 野沢分署長  
神泉分署 うちの内野分署長

○神川・神泉分署長コメント

消防団 Q&A

消防団？

どんな人たち？

活動は？



神川町消防団  
こじま 小島副団長  
くらはやし 倉林副団長



Q.1 消防団ってなにしてるの？

A. 火災発生時の消火活動はもちろん、大雨や台風など風水害の水防・災害活動や、災害に備えた訓練・地域住民に対する防災啓発活動を行っています。神川町消防団には女性だけの分団(第8分団)もあり、女性団員は応急手当普及員の資格を取得し、町内のイベントで広報活動や救命講習を行っています。地域の皆様を守るための準備はバッチリです！



Q.2 消防団に入っていいことはあるの？

A. 消防団に入ると色々な人と関わることが多くなります。地域の同世代の人たちはもちろん、幅広い年齢層の方々とつながりが生まれ、人脈が広がります。また、何か困ったときに、町中に知り合いの方が増えれば気軽に話ができると思います。新しい仲間づくりをするには最適な場です！



Q.3 消防団にはどんな人が入っているの？

A. 普段は会社員や自営業など仕事に就いている方で、職種は異なりますが、皆さん仲良く活動しています。火災が発生した場合は自宅や職場から駆け付け、消火活動を行います。興味がある方は、ぜひ一緒に活動しましょう。入団をお待ちしております。



消防団年間活動ギャラリー

|   |  |   |  |   |  |
|---|--|---|--|---|--|
| ① |  | ② |  | ③ |  |
| ④ |  | ⑤ |  |   |  |

①水防訓練(6月)  
②救命講習(8月)  
③団・分署合同中継送水訓練(9月)  
④消防団特別点検(11月)  
⑤出初式(1月)